

年4回（4月、7月、10月、1月の各10日）発行

ひゅーまん ねつとわーく

地域生活

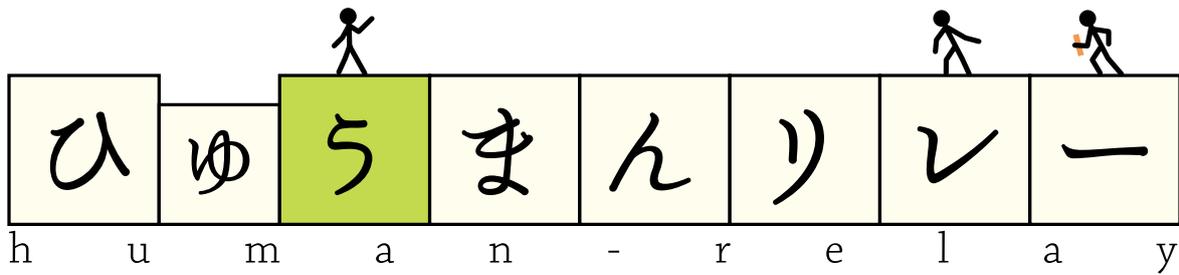
2020年7月 発行 / 第82号

社会福祉法人 北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



高槻病院にLaLa-chocolat TAKATSUKIのチョコレートを寄贈し、感謝状をいただきました!



～ 地域の中で機嫌よく暮らし、 はたらくために ～

社会福祉法人清心会 常務理事 おかべ ひろゆき 岡部 浩之さんより

社会福祉法人清心会は、埼玉県の北西部、秩父地方を中心に活動を行っており、昭和58年に法人を設立し入所更生施設「さやか学園（現障害者支援施設さやか）」を開設しました。現在は開設から37年目、地域の中核的社会福祉法人として地域福祉に重点を置き、様々な事業を行っております。

法人の歴史を振り返ってみると、入所施設の運営が中心だった当会に転機が訪れたのは平成10年の事でした。きっかけは、当時の地域療育等支援事業、現在の委託相談事業を受託したことでした。それまでも少しずつ地域に目を向けた取り組みを始めていましたが、改めて地域のニーズを抽出することによって、私たちの役割や目指すべきものが明確になってきました。そのニーズというのが、入所施設の充実ではなく、日中活動系サービス、グループホーム（以下GH）の充実とい



グループホーム

うものでした。ちょうどこの頃、今後の法人の方向性について日々議論を交わしていた時期でもあり、

法人内でたどり着いた結論も、地域の中に根ざした取り組みを前面に出していこうということでした。地域のニーズと私たちの思いが一致すると、それからの目標に向かってのスピードは加速し、必要なサービスを整備していきました。

次なる転機となったのは支援費制度が始まった平成15年、措置から契約に変わった年でした。この事も大きな出来事でしたが、私たちにとってもっと大きかったのは「入所施設の定員を削減したこと」でした。当時65名であった定員を60名、わずか5名ですが減員させました。その当時、入所施設の定員を減員させるということにかなりの反発を受けましたが、それは私たちが内外に示す「入所施設に頼り切らない地域福祉作り」を宣言したことでもありました。

そこから入所施設の定員は徐々に削減し、現在、定員は下限である30名となり、実際の入居者は20名前後となっています。入所施設の定員を削減した分だけそれに代わる新たな受け皿を用意する必要がありましたが、私たちはその受け皿を地域の中で生活できる小集団の生活空間GHと定め、地域の中に作っていきました。現在、秩父市内に23か所のGHが設置されています。また、「入所施設はあくまでも通過施設」という意思統一の下、

これまで80名を超える方が入所施設を卒業し地域の中のGH等で生活をされています。GHの生活スタイルが決してベストではないと思いますが、現在の私どもの取り組みの中ではベターな選択肢として考えています。これからも入所施設からの地域移行のステップとして、また安定した地域生活の場として、GHは重要な役割を果たしていくのだと思います。

また、地域生活支援を推進していく上で日中活動事業所の充実という課題もあり、これまでに複数の事業所を立ち上げてきました。その際のコンセプトも「地域とのつながり」ということを大切に考えてきました。その中の1つとして、地域農産物「借金なし大豆」を活用した実践を紹介したいと思います。

この大豆は大正時代から地元秩父地域で栽培されていたという在来種で、収穫量も多く「蒔けば蒔くほど儲かる。借金が返せる。」ということから「借金なし」と名付けられた、ネーミングもユニークな大変縁起の良い大豆です。しかしながら次第に生産者、生産量が減少し、この大豆が消滅の危機に陥ってしまいました。そんな時に味噌の製造



借金なし味噌

を行っていた私たちに声がかかり、プロジェクトが始まりました。法人内の農業部門で大豆の生産を行い、収穫した大豆で味噌を作り、製造した味噌をただ売るだけでなく、

当会で製造しているパンやラスクや漬物に活用したり、地域のレストランや老舗菓子店、精肉店さんなどに

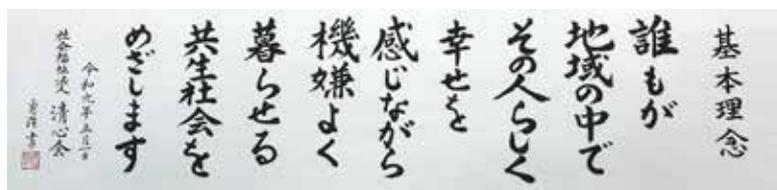


原材料として提供したり、そこからさらに新たな商品化をしていただく、いわゆる農業の六次産業化というものにチャレンジしました。試行錯誤、紆余曲折もあり全てが上手くいったわけではありませんが、現在は大豆の生産、味噌の製造販売はもちろん、そこから派生して、和洋菓子や地元名産の肉の味噌漬け等の材料として好評を博しています。

この「借金なし大豆」のプロジェクトを通じて、単純にモノを作って売るのではなく、1つの事柄にストーリーを持たせることによって意味や価値が大きく変化することを学びました。消滅の危機にあった大豆を次世代につなぐ役割も、私たちの使命だったのかもしれませんが。社会福祉法人のあり方が問われる今日、地域の中で求められる役割を再確認させられた出来事でした。

当会は、昨年から法人の基本理念をリニューアルしました。「誰もが地域の中でその人らしく 幸せを感じながら 機嫌よく暮らせる 共生社会を目指します」という理念です。私たちが地域福祉に没頭した20年余りの中で大切にしてきたフレーズを繋ぎ合わせたものですが、我ながら大変気に入っています。

この基本理念がしっかりと実現できるよう、これからも地域の中で歩んでいきたいと思っています。



基本理念

地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～



城野寝具 株式会社

代表取締役 ^{じょう}城 ^の野 ^{たか}貴 ^{ゆき}之さんより

弊社は1954年創業、1962年に法人設立し、現在59期目になります。

創業当初は製綿業、和布団の製造をしていましたが、社会の流れとともに事業も変わってゆき、現在は寝具・家具・家電のレンタル、高温乾燥メンテナンスサービス、特殊寝具・布物雑貨の製造、布物雑貨のECサイト運営の事業を展開しております。

24年ほど前から障害のある方を雇用しており、現在は3名が在職中です。

1名は大型のキルトミシンでの縫製をしてもらっています。縫製を覚えてもらうことは大変苦勞しましたが、覚えてしまえば正確に作業をするので、安心して任せられるようになっていきます。

2名は商品の検品、袋入れなど軽作業をもらっています。反復作業は彼らに向いているので伸び伸びと仕事が出来ていると思います。

ジョブジョイントおおさか様には就労準備訓練の一つとして雑貨の検品や袋入れの業務委託をお願いしております。その作業に興味を持った一人が実習を経て雇用に至りました。今年の6月でちょうど一年になりますが、今ではクッションの圧縮作業や布団のメンテナンスなど色んな仕事に就いてもらっています。

障がい者雇用については他の従業員の理解が重要だと認識しています。接し方によってはパニックを起こしたり、能力を十分に発揮できなくなります。

苦勞することとしては「急な変更や応用が難しい」「細かいことが理解できないことがある」「同じことを何度も聞いてくる」などがあります。

戦力となっていることとしては「丁寧に淡々とこなす」「集中力がすごい」「真面目」「休まない」な

どがあります。

個々の特徴を把握し、「ゆっくり」「丁寧に」「繰り返し」教えていくことでマイナス要素よりプラス要素が多くなり、一人前の戦力に成長してくれます。

また、作業内容に制限を設けず、一つの作業が出来るとなれば次のステップへ進むようにしておりますので、仕事に対して自信を持つことが出来ると思います。

さらに、彼らからは「真面目で休まず仕事をする姿勢」「相手を見てしっかりとした挨拶」「場を和ませる笑顔や言動」など教わるがたくさんあります。毎日一生懸命な姿を見ると気が引き締まる思いになります。

最後に、先にも述べましたように障がいのある方を雇用するには、他の従業員の理解が大変重要だと思います。弊社も試行錯誤しながら少しずつ理解を深め、お互いの絆を強くしていき、安心して仕事が出来ると環境作っていております。また、就労支援機関の方が色々丁寧なアドバイスしてくれま





和太鼓奏者 ^{イチナナ} 17LIVE 認証ライバー
バチ・ホリック 所属 ^{まつ} 松 ^{がみ} 上 ^{ゆう} 祐 ^き 来さんより

◎「はっぴいビート」さんとの出会い

ふれいす Beさん所属の和太鼓クラブ「はっぴいビート」さんとの出会いは2013年でした。私がカフェ Beさんのミュージックデイに出演させていただく際、コラボをお願いしたことがきっかけでした。

当時「はっぴいビート」さんは私の母・松上英子が指導をさせていただいて、私は母と一緒に練習場へ伺いました。私は初めてのことで緊張をしていましたが、「はっぴいビート」さんの太鼓への誠実さと積み上げたテクニックを感じたことを憶えています。

発表当日の本番前に「はっぴいビート」さんのメンバーの方がお一人で隅で黙々と練習されていました。私と一緒に出演した友人の一人が「あの方の頑張っている姿が一番大事やんな」と私に話しかけてきたことがあり、それがすごく印象に残っています。

最初に一緒に舞台に出演された方は今では「はっぴいビート」さんにはいらっやいませんが、時にカフェ Beで働かれていますのお姿を見かけるととても嬉しく、懐かしいあたたかい気持ちになります。

◎月に一回の練習に参加させていただくようになって

2018年からは私は母から引き継ぎ「はっぴいビート」さんへ練習の指導に行かせていただくことになりました。

今までに3度コラボをさせていただいておりますが、最初の発表は3名様に参加でしたが去年3回目の発表では10名の方と一緒に舞台に立たせていただきました。

普段お仕事をされている皆様が、お仕事終わりに選んでくださった貴重な1時間、どれだけ楽しんで太鼓を叩いていただけるかを一番に考えます。

メンバーの方への誠実という印象は今も変わっていませんが、純粹さや優しさも伝わってきます。

毎回練習に行くと「よろしくお願ひします」終わりには「また一緒に太鼓打とうね」時には私の身体を心配して「目の上腫れてるね、どうしたの、可哀想に」と言ってくれることもあり感動を覚えます。

毎回練習終わりにはご家族の方が迎えに来られ、一緒に帰られる姿に幸せを感じます。

また職員の方もとても協力的で、すごく丁寧にご対応して下さいます。

私はいつも練習帰りの車内で「自分も頑張らないといけないな」と新たに自分に喝を入れるのでした。

◎今後の取り組み

現在は次回の発表に向け、新しく「はにたん体操」に合わせてリズムを叩くということに挑戦しています。

私は練習日までには毎回リズムを作っていきますが、実際に内容を決定するのは現場です。メンバーの方から反応をうかがったり職員の方ともやり取りしてその都度リズムを更新し、それをまた持ち帰って作り直すという過程で作っています。

ここでもメンバーの方が楽しんで叩いてもらえることを一番に考えています。

発表予定当日は「はにたん体操」に合わせての太鼓の発表と共に、体験会でも一般のお客様にメンバーの方と一緒に「はにたん体操」の太鼓を叩いていただければと思っています。それが今私が目指す地域に生きる姿だと思っています。



ポールウォーキング活動 ～運動を楽しむ機会と地域交流の場に向けての報告～



ジョブサイトひむろ

作業療法士 近 藤

あきら
晶

■ はじめに

ジョブサイトひむろでは、障がいのある方が地域の中でいきいきと「働き」「暮らし」「余暇を楽しむ」ことを包括的に支援し、ご利用者一人ひとりに合わせた「個別支援」を展開することを支援方針としています。

ジョブサイトひむろでは、来年度開設20年を迎え、ご利用者の半数の方が40代になられ、高齢化による心身機能の低下も心配されます。また運動や活動量が少なく、肥満や肥満予備軍、姿勢の崩れが見られる方に対し、これら予防・改善を目的に、また生活習慣病を予防するために、厚生労働省が推奨するエクササイズ指標に基づき、日中活動に個別の運動プログラムを立案・提供させていただいています。

■ 従来の状態と問題点

多くの障がいのある方にとっては、運動を行うモチベーションを維持することが難しく、運動プログラムを自らの意志で取り組み、習慣にして行くことは難しいと感じます。

エクササイズによる指標では週に23エクササイズの運動を行うことが推奨されており、適度な運動を毎日継続して行うのが望ましいとされています。

運動を毎日の習慣にさせていただくためにも、目的意識や達成感、運動への楽しみを得る事が大切です。

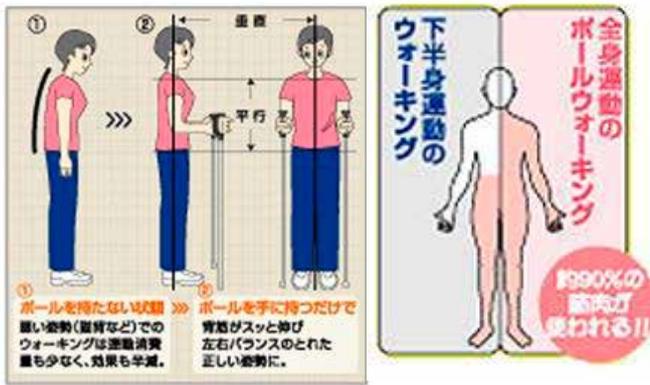
■ 初年度（平成30年度）の取り組み

健康診断の結果から、BMI値（体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数）が25以上の肥満に分類される方、BMI値が24以上の肥満予備軍に分類される方、日中活動量が少ない方や血液検査結果を踏まえ運動が必要とされる方や、姿勢の崩れや歩行能力の低下が予想される方に対し、生活習慣病の予防・改善、姿勢維持、歩行能力の維持改善、日中活動量の増加を目標とし月に2回のポールウォーキング活動を市立体育館にて行いました。

また、運動や体を動かすことを楽しんでもらう活動として、屋外での様々なシチュエーションで歩く、スタンプラリーイベントを行うなど、歩行能力や、身体機能、運動量増加目的のみでなく、楽しむ活動としてはじめました。

■ ポールウォーキングとは

ポールウォーキングは、専用のポールを持って歩くことで正しい姿勢のまま歩幅を広げバランスよく歩くなど、転倒予防と身体バランスの改善、筋バランスの改善が期待できます。また上半身と下半身がねじれあう回旋運動など、上半身も積極的に動かすことで全身の90%の筋肉を使います。通常のウォーキングと比較すると20～30%増しの運動効果が期待でき、体脂肪の燃焼とインナーマッスルが強化されるなど効率的な運動です。



■ 初年度の取り組みに対する結果

ポールウォーキングに参加されている方全員が運動を拒否されることなく継続して行えており、運動中には笑顔も見られています。

また、近隣の公園へ散歩に出かける際も「練習」と称し、専用ポールを持参し出かけるなど、ご利用者や職員にとって活動が定着し習慣化してきています。それに伴い、BMI値の減少や円背姿勢や歩行能力の改善、健康診断での血液結果の数値にも改善が見られました。月に2回の活動ですが、ご利用者が楽しみにされ参加されていることが一番の成果だと思います。

■ 健康とは

1946年世界保健憲章において世界保健機構(WHO)は健康を次のように定義しています。

「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、全てが満たされた状態」

ポールウォーキングの活動では生活習慣病予防、肥満の改善、姿勢や歩行能力に働きかける肉体的な健康へのアプローチのみではなく、自ら、楽しく活動し、社会参加できることでの精神的な健康、社会レベル(人生レベル)での健康へ働きかけて行くことが大切であり課題でもあります。

■ 昨年度(令和1年度)の取り組み

ポールウォーキングの効果や楽しさを知っていただ

く活動とし、当法人の多機能型通所施設おれいすBeのご利用者7名の体験参加をしていただきました。

また、職員のご利用者へのサポートでの参加から、職員もポールウォーキングを行い、一緒に楽しむことを目的に活動を始めました。

また運動が苦手であっても、運動に楽しく参加していただくことに焦点を当て、株式会社エバニュー(スポーツ・レジャー用品製作会社)様の協力のもと、9つの心体能力にスポットを当てた心と身体に関わる能力を育む運動イベントを行い、運動が上手くできる、できないではなく、どのように参加でき楽しめたかを目的としたイベント「にこすぽスポーツ大会」を開催しました。

■ 昨年度の取り組みに対する結果

おれいすBeより定期的に10名のご利用者に参加していただき、職員も一緒に楽しむことで、参加人数も増え、ダイナミックな活動へと発展しています。みんなで同じ運動を行うと運動の目的もわかりやすく、ご利用者のみならず、職員の運動を楽しむことへのモチベーションの向上につながったのではないかと思います。

「にこすぽスポーツ大会」ではご利用者1人ひとりの運動能力に着目した結果、ご利用者の新たな運動能力や楽しいと感じる運動の発見につながりました。

日頃行なっている運動では、楽しくできることでの運動メニューの提供など、ご利用者の運動の成功体験につながり「運動が好き、運動をしたい」と運動を楽しみながら行うことへの一定の効果があったと感じます。

■ 総評

ポールウォーキング活動を始めて今年で3年目になります。体験活動から始まったおれいすBeからの参加も、月に1回の参加へと定着し、少しずつですが広がりを見せています。

また、運動量の増加、生活習慣病の予防改善、姿勢保持や歩行能力の改善にも一定の成果をあげています。

平成30年度参加ご利用者 …………… 18名
 令和1年度参加ご利用者 …………… 24名
 ぶれいすBe …………… 10名
 BMI24以上の肥満予備軍・肥満傾向の方12名
 のうちBMIの値に改善が見られた方8名

ポールウォーキングの活動では余暇活動的な一面もあり、生活の中での日常的な活動として定着しており、楽しみな活動になっています。

しかし、健康には社会的に満たされていることも

大切ではないでしょうか。「地域に生きる」理念のもと、ご利用者が地域の中で障がいのある人も無い人も、共に楽しみ、参加できる場があるのが大切です。

本年度の取り組みでは法人内の事業所と連携し、ご家族や近隣の障がい福祉サービス事業所、高齢者施設、地域住民の方も巻き込んだ地域で楽しめる活動として、また地域活動の参加の場所として発展させて行きたいと考えています。スポーツウェルネス（スポーツイベント企画運営法人、ポールウォーキングを指導していただく）様、株式会社エバニュー様の協力のもと地域参加も呼びかけ、ポールウォーキングの効果や楽しさを、みんなで楽しめる活動の場としての準備を進めています。



グループホームにおける重度知的障害者の自立した生活

～ 評価を基に洗濯物干し、片づけ、衣服選択を支援しました ～



レジデンスなさはら

支援員 藤野

きよし 清

1. はじめに

重度知的障害や、自閉スペクトラム症の方は、フリータイムに何をしても良いのかわからず、悩まれることが多いです。重度知的障害の方のグループホームであるレジデンスなさはらでも同じ傾向がみられ、1年間のひやりはっと報告1098件の内461件（42%）がフリータイムに起こっています。（左下図参照）

フリータイムに余暇活動を支援することで、ご本人の悩みが少なくなり、ひやりはっと報告が減少するのですが、レジデンスなさはらでは、フリータイムが約10時間あり、余暇活動だけではなかなかフリータイムの時間が埋まらず、ひやりはっと報告も減りませんでした。

一方で、重度知的障害の方の暮らしの場では、ご本人が実施される家事が少ない傾向にあるため、レジデンスなさはらでも、ご利用者の家事時間はほぼないに等しい状況で、結果フリータイムが増えてしまう形となっていました。（右下図参照）

家事は、生活の営みの中では必要不可欠なものです。しかし、レジデンスなさはらでは、ご利用者にその家事の機会がほとんどないこと、そして職

員が支援を展開できていないことが双方にとって大きな課題でした。

そこで、レジデンスなさはらでは、令和元年度から、家事を支援することを始めました。家事を支援することで、『ご本人の「らしく」生きる』を支えようと考えたのです。また、同時にフリータイムが減っていくことも狙いとしました。今回は、その支援の1例を紹介致します。

2. 事例と課題の紹介

年齢：36歳 男性

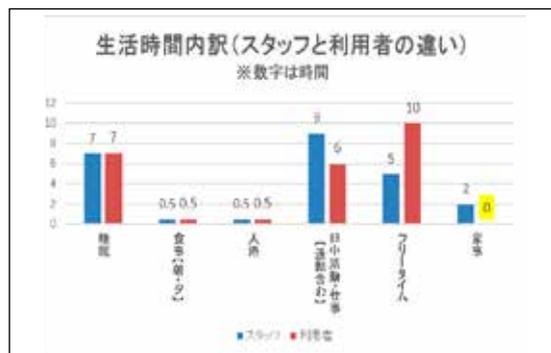
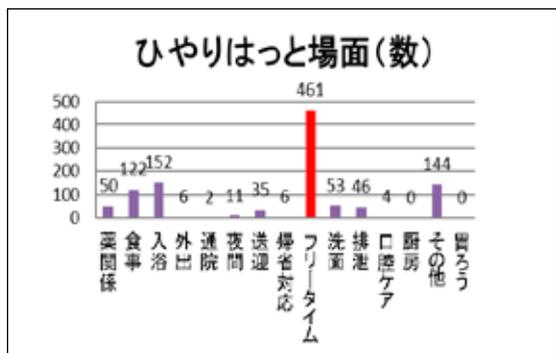
障害：重度知的障害、自閉スペクトラム症

課題：フリータイムにトイレにこだわり、何度も水を流す、便器の水で遊ぶ

3. 課題の要因

【要因①：職員が全介助をしていたため、ご本人のフリータイムが多かった】

これまでは職員がご本人の家事スキルを把握しきれていないこともあり、多くの家事を職員が全介助で行っていました。そのため、ご本人の生活で



フリータイムの時間が多くなり、何をしたらよいかわからず、こだわりの行動が増える結果となっていました。

【要因②：職員の*エンパワメントへの意識不足】

昼間の生活介護事業では、手先を使う仕事をされているため、作業スキルをお持ちなことは把握しています。しかし、私たち職員が、作業スキルと家事スキルを結び付けて考えることが少ないので、結果として、洗濯物干しなどの家事に対しては、本人の本来のスキルからみれば過剰な支援となり自立をさまたげている状況でした。

【要因③：ご本人の力を職員が把握、共有できておらず、支援が整っていなかった】

係る職員全員がご本人の力を把握できていなかったため、根拠ある支援ができておらず、ご本人に場当たりの対応をしてしまっていました。

*エンパワメント：ご利用者の自立を促進すること

4. 取り組んだ内容

- 評価キット（ご本人を知るための道具）を活用し、ご本人の力を職員が把握することから取り組みなおしました。これによって、ご本人の行動の特徴やスキルを確認でき、その結果を職員で共有しています。
- 評価キットの結果を参考に、ご本人がグループホーム内で取り組める活動を検討し、洗濯物干し、片づけなどを家事の1つとして取り入れました。
- 絵や形を合わせる事が得意なことが分かったため、洗濯物干し、片づけを自立してできるように絵や形を使った視覚的な手掛かりを使い、どこに何を片づけるのがよいか理解しやすいようにしました。また、朝の着替え時に衣服の選択をご本人がしやすいように衣服ケース内も整理しています。



靴下の干す場所がわかりやすいように、形でお伝えしました

5. 結果

【要因①②への効果】

- 洗濯物干し、衣服片づけが職員を介さず自立して行えるようになり、朝に衣服をご自身で選択し、着替えることができています。さらには洗濯物干し、衣服片づけをすることで、ご本人が自立してできる家事が2つ増え、自立生活時間が10分長くなりました。
- このことで、職員が支援する時間が10分短縮され、その分入浴の時間を長く設定できる、他のことへ支援時間を費やせるようになる等の効果がみられています。
- こだわり活動については、残念ながら大きな違いはまだありません。

【要因③への効果】

評価キットを活用し、ご本人のことをより理解できるようになり、それをチームに伝えることで根拠が明確となり、結果として場当たりの支援が大きく減少しました。

6. まとめ

重度の知的障害の方の家事を支援して学んだことは、私たちの支援力不足により、ご本人にはまだまだ発揮できていない力があるということです。そして、その力が発揮できていないことで、フリータイムが多くなり、ご本人のこだわり行動が増えていることにも気が付きました。

職員がしっかりとご利用者を理解して支援を行うことで、ご本人の持っている力を発揮できることがわかりました。

これからも、ご本人が力を発揮し、自立して生活できるように、支援を実施していきたいと思えます。



どこに何を片づけるかわかりやすいように絵のラベルを貼っています

インフォーマルアセスメントによるスケジュールの変更と活動の広がりへの取り組み



【事業所について】

ジョブサイトよど（以下JSよど）は平成18年4月に開設した生活介護の事業所で、令和元年11月現在38名の方が利用されていました。主に発達障がいのある方を対象に、コロッケやつくねの製造、下請け作業や自立課題（障がいのある方が支援者の指示や手伝いなく一人で取り組み、達成感や成功体験を得るための課題）を行ったり、ドライブやレクリエーションなどの余暇を行っています。

【事例紹介】

発達障がいのある方の特性として、変化が苦手な方が多く、同じことを好まれる、ということがあります。その度合いは人にとって様々ですが、中には新しい仕事や活動に取り組めない方もおられます。Uさんもそのような特性のある方のひとりで、毎日同じスケジュールを進めることを大切にされていました。また変化の苦手さの他に、健康診断などの医療に関する活動の苦手さや、防災訓練に参加できないなどの課題も持たれていました。

Uさんは平成18年にJSよどへの通所を開始され、視覚的なスケジュールを導入したことで見通しの持てる日中活動を確立されましたが、昔から行っている行事以外では、毎日同じスケジュールで過ごされていました。

平成30年度から令和元年度にかけて、JSよどではご本人の特性に配慮しながら、大切にされていることや物事の理解の方法などをあらためてとらえ直し、ご本人が無理なく新しい活動やできなかった活動に取り組めるよう支援しました。

ジョブサイトよど 5階職員一同

支援員・社会福祉士 ^{おけ} ^{たに} ^{こう} ^{すけ}
桶 谷 幸 祐

平成30年度のUさんの支援目標は、JSよどで行っているコロッケ事業の厨房作業を行うことでした。そのために、段階を踏んで新しい活動に取り組んでいきました。まずUさんの所属フロアの中で、ご本人のスペースを出て行く「絵画」の余暇活動を導入。ご本人に毎月お配りしている月間予定表に絵画活動を記載し、さらに前日にも文章でお知らせし、活動の予告をすると、初めての活動にも関わらず受け入れてくださいました。このことから新しい活動がすべて難しいわけではなく、事前の予告によって見通しをもって活動に参加できることが分かりました。

その後同じ方法で、血圧測定やコロッケ店舗への荷物の配達などもできるようになり、最終的に厨房作業を行うこともできました。この取り組みの中で、予告支援の必要性や、Uさんは1日に行う作業の数を大切にされていることや、医療に関する活動すべてが苦手なわけではないことが分かりました。しかし、防災訓練や健康診断など、この方法でもできない活動があり、



コロッケバッグ配達の手順書

見通しの問題以外の要素が関係していることが考察できました。



厨房作業の様子

令和元年度はスケジュールがすべて終わった後の空き時間に新しい作業や活動の提案をすると取り組んでくださり、スケジュール上の決まった作業の変更は難しくても、新しい作業や活動自体に抵抗があるわけではないことが分かりました。

防災訓練や健康診断については、平成30年度の方法とは別の方法で取り組むことができました。防災訓練は「意味がわかりにくいからやりたくないのでは」というお母様のご意見から、「カードを受け取る仕事」として一日のスケジュールの後に提案させていただいたところ、実施することができました。健康診断については注射が苦手ということを知っていたので、採血のない健康診断の日に向け、「カードを渡す活動」として健診を受ける病院に行く練習をしました。その中で、徐々に健診項目を受けてからカードを渡す練習をし、結果として、当日は健診を受けることができました。



健康診断（問診）の様子

令和元年度は支援目標である *絵カード交換式コミュニケーションシステム (PECS)



PECSのボード

を使用して自発的に要求をする練習も並行しています。以前は作業の交換などを要求したいときに「あ」「これ、なんですか」などその場にあった正しい表出の方法ができていませんでしたが、PECSで「〇〇さん△△ください」というカードの使った表出を行うことで、カードを使用しながら「〇〇さん△△ください」と伝えることができました。

【今後の展望】

長年新しい活動に挑戦していなかったUさんでしたが、2年間の取り組みを通じて、15以上の新しい活動に取り組むことができ、実施できていなかった防災訓練や健康診断に参加することができました。ただ、今回の方法では防災訓練はスケジュールをすべて終えた後にしかできないことや、採血の必要な健康診断にはまだ挑戦していないことなど、課題も残っています。今後もUさんの見ている世界や大切にしていることに寄り添いながら、無理なく活動の幅を広げていけるようにJSよどで支援を続けていきます。

絵カード交換式コミュニケーションシステム (PECS)®

PECS®ってなに？

アンディ・ボンディ (Ph.D.) とロリ・フロスト (MS, CCC-SLP) によって開発されたコミュニケーション支援システムです。

PECSは6つのフェイズ (段階) から成り立っており、対象者が一枚の絵カードを“コミュニケーションパートナー”に渡すところから始まります。絵カードを渡されたコミュニケーションパートナーはすぐにその交換を要求として受け取り、要求を叶えてあげます。次に、絵カードの弁別 (認識) を教え、そしてどのように文を構成するのかを教えます。さらに上のフェイズでは、対象者は修飾語を使ったり、質問に答えたり、コメントし

たりすることを教わります。PECSの最優先の目標は機能的コミュニケーションを教えることです。

研究の中では、PECSを使っている中で発語が出るようになった生徒もいることがわかっています。音声表出機器 (SGD) に移行する方もいらっしゃいます。PECSがエビデンスベースの介入であり、PECSの効果を実証する研究は沢山発表されており、増え続けています。今現在世界中で150以上の研究が発表されており、PECSの効果を裏付けております。

ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン(株)の
オフィシャルホームページより抜粋
<https://pecs-japan.com/>

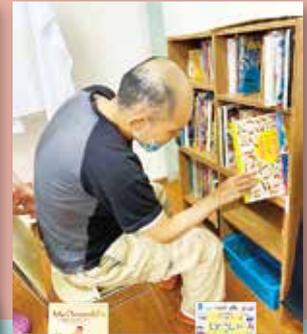


杉の子 いいね!

凸レッツ凸
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

ジョブサイトひむろ



ひむろの食堂に図書館ができてからお昼休みに毎日通われています。のりもの本はお気に入りのようで長期のレンタル中です。図書館ではとっておきののりもの本を大事に手に持ったまま、今日はどんな本があるかな、新しい本は増えていないかとじっくり時間をかけてご覧になっています。レゴで作ったのりものは、作業が終わってから黙々と制作。これまで見てこられたたくさんののりものを思い浮かべながら作られたのでしょうか。

ジョブサイトよど



こいのぼり ピース!



あじさい作り もうすぐ梅雨ですね



リラックマさんたちの絵を描きました!

ジョブサイトよどでは、日中の余暇プログラムで創作活動や絵画活動しています。ご利用者さまが作られた作品をご紹介します☆

掲示板コーナー

(令和2年3月から令和2年5月まで)

法人事業部 掲示板

3月	行 事
9・23日	経営会議
13・27日	運営会議
21・28日	法人採用説明会
25日	総務管理会議
30日	第125回理事会 高槻商工会議所第三会議室 第1号議案 定款変更の件 第2号議案 法人組織再編の件 第3号議案 部長人事の件 第4号議案 諸規則、規程類の改正の件 第5号議案 寄附金受領の件 第6号議案 三菱UFJ銀行から3,000万円借入の件 第7号議案 令和2年度事業計画(案)の件 第8号議案 令和2年度予算(案)の件 第9号議案 定時評議員会開催の件 第10号議案 理事長職務執行状況報告の件

4月	行 事
3日	医療連携推進室会議
4日	法人採用説明会
6・20日	経営会議
8日	法人事業部管理会議
10・17・24日	運営会議
18日	令和2年度第1回法人全体研修 オンライン開催 令和2年度方針・資格表彰・レジデンスなさはらの事故報告
22日	法人事業部管理会議
24日	権利擁護虐待防止委員会

5月	行 事
1・8・15・22・29日	運営会議
1日	医療連携推進室会議
7・12日	採用一次面接 オンラインにて実施
11・25日	経営会議
13日	法人事業部管理会議
17日	FUKUSHI MEETS オンライン採用イベント
19日	採用二次面接 オンラインにて実施
28日	第126回理事会 法人本部会議室 第1号議案 理事長報酬承認の件 第2号議案 諸規則、規程類の改正の件 第3号議案 令和元年度事業報告承認の件 第4号議案 令和元年度決算承認の件 第5号議案 令和元年度監事監査報告の件 第6号議案 理事長職務執行状況報告の件 第7号議案 定款変更の件

(河辺 記)

FUKUSHI MEETS オンライン採用イベント



Stay Haginomori

緊急事態宣言を受けて、帰省・面会の制限のご協力ありがとうございます。
この期間の萩の杜での過ごしや様子を簡単にですが、お知らせさせていただきます。

ご利用者さんの様子

日 時	活動プログラム
5月2日(土)	ティータイム
5月3日(日)	ティータイム・散歩
5月4日(月)	ティータイム・ドライブ
5月5日(火)	萩の杜温泉
5月6日(水)	ティータイム・散歩



Stay Haginomori, Save Lives



みなさま、ご協力
ありがとうございました。


B-style3



(池田 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

マスク作成でコロナ対策！



非常勤スタッフの発案で始まった
コロナ予防マスク作りです。



完成！

マスクが無くなっても
作ったマスクで飛沫予防！



作成したマスクはご家庭、グループホームでも
使ってもらえるよう持ち帰っていただきました♪

屋外でリフレッシュポールウォーキング！



「密」にならないようにリフレッシュ！

コロナの影響で体育館が使えなくても大丈夫！
さらに、活動は前半、後半に分かれて質もUP!!



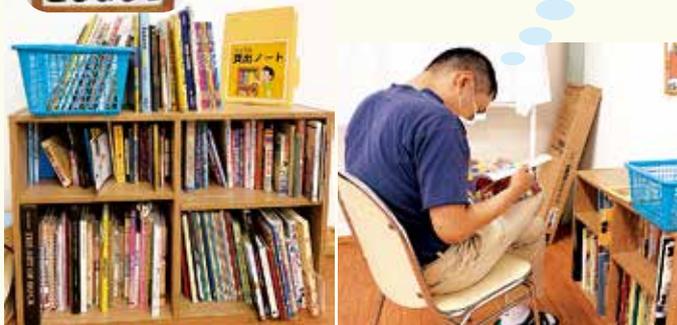
4月より「ひむろの図書館」が新しくできました！



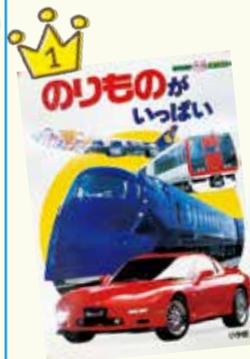
本好き集まれ～!



最高の本を見つけた



貸出回数1位はこの本!



たくさん、借りていただきました!



(田中 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

3月	行	事
5日	地域支援マネージャー事業振り返り（東大阪市）	
6日	発達障がい者支援センター3センター情報交換会議（アプリコット堺にて）	
9日	地域支援マネージャー事業振り返り（摂津市）	
27日	発達障がい児者支援施策市町村説明会	

4月	行	事
2～3日	自閉症啓発デー大阪城ブルーライトアップ準備、撤収に参加	

（山根 記）

アクトおおさか Topics!!

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、アクトおおさかでも感染拡大防止の取り組みを実施しております。相談者の方や関係機関のみなさまにもご協力いただきありがとうございます。

さて、国立障害者リハビリテーションセンターの中に設置された発達障害・情報支援センターのホームページでは、発達障がいや新型コロナウイルス感染拡大防止に関する様々な情報が発信されています。参考になる情報も多いので興味ある方はご覧ください。

発達障害・情報支援センター URL: <http://www.rehab.go.jp/ddis/>



児童発達支援部



コミュニケーション練習



感覚グッズでリラックス



足型で姿勢を正しく



身だしなみの確認



プレジャーブックづくり



リモート部内研修



(西ヶ峯 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

ジョブサイトよど

～よどの近くを散歩♪～



～創作活動～

スポンジスタンプで満開*



～お部屋でエアロビ～



～土曜開所～

やきそばとコーラフロートを作りました◎



ジェイ・ブランチよど

～ブランチ内で楽しくお仕事して過ごせました～
「かたぼんのシーラー止め作業に集中しています」



(鎌田・松田 記)

ぷれいす Be 掲示板

【外出】

ぷれいす Be 近隣で、個別に春を楽しみました。



【カフェタイム】



Cafe Be で、ソーシャルディスタンスを保ち、
美味しいドリンクでくつろぎました。



こいのぼり作り

【室内活動】

母の日プレゼント作り



【ミニトマトいただきました!】

株式会社 富山環境整備 スマートフォレスト 営業部様よりミニトマト10箱(1箱200個)を寄贈していただきました。高槻地区事業所に配布して給食でいただきました。フルーツのように甘くておいしくてご利用者も大喜びでした。遠路富山県よりお持ちいただき本当にありがとうございました。



(松本 記)

ジョブジョイント (JJ) おおさか・ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ- 掲示板

3月	行	事
14日	土曜クラブ	
27日	内部研修 (面談技法の研修)	
28日	土曜クラブ	
31日	2019年度働くチカラPROJECT 実践報告会のWEB 配信	

4月	行	事
4日	『もしもに備えるハンドブック』 (公式HPにアップ)	
10日	『マスクの洗い方』 (公式HPにアップ)	
14日	『ステイホームへの対処法~自宅をJJにしよう!~』 (公式HPにアップ)	
21日	『気持ちを切り替えるためのアイデア集』 (公式HPにアップ)	

5月	行	事
9日	土曜クラブ	
15日	就職先企業様用 YouTube を配信	
22日	たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク会議 (zoomにて開催)	
30日	土曜クラブ JJおおさかから就職されたOBのための専用サイト『シュミラボ』開設	

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、webでの活動が中心でした。
(徳野 記)

ハンドブックの発行

新型コロナウイルスの感染拡大による社会状況の変化に伴い、その都度活用できるよう『マスクの洗い方』、『もしもに備えるハンドブック』、『ステイホームへの対処法~自宅をJJにしよう!~』、『気分転換・ストレス発散~気持ちを切り替えるためのアイデア集~』のハンドブックを作成し、ご利用者へ配布したりホームページに掲載しました。通所を自粛されていた方の中には、これらを活用してくださっています。刻々と変化していく状況の中で、皆さんのお役に立てた情報があればうれしいです。



マスクの洗い方



もしもに備えるハンドブック



ステイホームへの対処法



気分転換・ストレス発散



ハンドブック4部

egタイム

ジョブジョイントおおさかでは『egタイム』というプログラムがあります。enjoy the gameの頭文字を取ったもので、楽しみながらコミュニケーションを取ることを目的としています。普段はテーブルゲームなどをしているのですが、三密や飛沫感染を避けるため、今回は個人での作品作りに取り組んでいただきました。『スクラッチアート』に取り組まれた方からは、「リラックスできた」と感想があり、リラックス方法としても効果があるようでした。



自閉症啓発イベント

3月下旬に、ご利用者の方と『自閉症啓発デー Light It Up Blue』のお手伝いに行ってきました。今回は、JR高槻駅の人口デッキでの、ポスターや電飾の取り付けと高槻市役所前で植栽の電飾を行いました。脚立に登り高い場所で行う作業だったため慣れない作業ではありませんでしたが、ペアで声をかけ合い協力しながら作業されていました。夜には青のライトがとてもきれいに光っており、癒されました。作業に参加された皆さん、おつかれさまでした!





令和元年度おつかれさま会

毎年みなさんが楽しみにされている年度末のおつかれさま会を今年も実施しました！
今年度は安満遺跡公園にあるイタリアンレストランでランチを楽しみました！

司会の乾杯の
あいさつで
おつかれさま会
スタート！



スライドショーを
みんなで見て、
1年を振り返り
ました！

新メンバーの
3名から、
挨拶と自己紹介を
してもらいました！

令和2年度入社式

今年度から新しく3名の方がメンバーに加わりました！
これから一緒に楽しく働いていければと思います！



先輩メンバーからも
3名にメッセージを
伝えてもらいました！

高槻市役所の花壇に花を植えました！

今年も高槻市役所の花壇の花植えや水やりの仕事を受注させていただいています。
日差しも強くなってきて暑い中でしたが、みんなで頑張って花を植えました！



高槻病院にチョコレートをお贈りしました！

医療現場で日々働いておられる方に感謝の気持ちをお伝えできればと、いつもお世話になっている高槻病院の皆さまにチョコレートをお送りしました。とても喜んでくださり、ご利用者の皆さんも嬉しそうにされていました。高槻病院の皆さま、温かく迎えてくださりありがとうございました！



(山田 記)

萩の杜家族会 掲示板

3月	行 事
9日	会長会議
13日	サークル萩 萩の杜ホールにて 10:00~15:00

5月	行 事
	コロナ対策のため、全予定中止 (事務局 山本 記)

4月	行 事
27日	家族会総会 北摂杉の子会本部会議室 10:00 ①コロナ対策で巴む無く書面による総会とし、会 員に資料配布の上賛否を問う、総会となった。 (会長・事務局・会計・監査・グループより2 名参加) ②会員総数57名の内、議決票返送人数43名 1号議案~5号議案まで賛成42、保留1によ り賛成多数で承認される。

イオン備品

イオン黄色いシートキャンペーンにいつもご協力あり
がとうございます。4月14日(火)62,600円分のギフ
トカードを頂きました。萩の杜ふれっと、ふれっとなさ
はら、ふれすにて大切に使用させていただきます。



今年度の総会は書面にて開催しました。4月27日(月)
に代表6名で法人本部にて、マスク、3密を守りながら
の会議を行いました。



ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

3月	行 事
16日	家族会会長会 (高槻現代劇場集会室) 東会長出席
18日	第7回役員会 定期総会資料準備確認 (法人本部)
26日	事故研修委員会 (法人本部) 東会長出席

4月	行 事
10日	第8回役員会 定期総会議案書 作成&配布 (法人本部)
22日	定期総会 [開催中止] → 議決票による書面決議

5月	行 事
12日	臨時役員会 (さかい珈琲) 出席者 3名 (東会長、加藤副会長、新田副会長) 定期総会議案書議決票の集計・議決 第1号議案 令和元年度行事活動報告 第2号議案 令和元年度会計報告及び会計監査報告 第3号議案 令和2年度行事計画の件 第4号議案 令和2年度予算計画の件 第5号議案 令和2年度役員及び会計監査・参与選任の件 以上の議案すべて賛成49票(会員49名)にて承認されたことを確認

5月	行	事
12日	<2020年度 役員> 会長 東 敬司 副会長 加藤 博・新田 順子 会計 佐藤 美穂・戸田 恵子 (新任) 事務局 吉田 直美・升本 千絵・山田 智子 (新任)・副島 広子 (新任) 会計監査 山田 英生 (新任) 参与 平野 貴久・森田 耕平	
18日	家族会会長会 [中止]	

(吉田 記)

ジョブサイトよど家族会&ジェイ・ランチよど家族会 掲示板

3月	行	事
10日	3月定例会 (淀川区民センター) 開催中止	
16日	家族会会長会 (法人本部 402号室) 出席: 永井、玉木	
28日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ランチよど家族会 合同役員会 (ジョブサイトよど2階)	

4月	行	事
11日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ランチよど家族会 合同役員会 (ジョブサイトよど2階)	
21日	家族会合同総会 (淀川区民センター) 開催延期	

5月	行	事
18日	北摂杉の子会後援会 定例役員会 開催中止 家族会会長会 開催中止	
30日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ランチよど家族会 合同役員会 (ジョブサイトよど2階)	

(永井 記)

ふれいすBe家族会 掲示板

3月	行	事
コロナ禍下での家族会活動	ふれいすBeの「継続的な事業所運営」が至上命令であり、家族会としてはそれへの協力を活動の基本とした。三密を防ぎ・社会的距離を確保するために、様々な案件は会長と担当役員とのメール・電話等々を介して決定し、役員が一同に会しておこなうのは、30分程度で終わるように、書類の印刷・配布・回答の集計等の業務に限定した。	
12日	役員会 (ふれいすBe会議室) 参加者 4名 審議報告事項 ・上記の活動方針の決定 ・新旧役員の顔合わせは、議事録および総会資料の配布をもってかえる。 ・第11期定期総会の議案者の策定 (開催予告、議事次第、第1号議案・2019年度活動実績、第2号議案・2019年度収支報告および会計監査報告、第3号議案・第11期役員・会計監査・参与等の名簿、第4号議案・2020年度活動計画、第5号議案・2020年度予算計画) ・掲示板原稿 (12月~2月) 確認	

4月	行	事
2日	総会準備のための作業役員集会（ぶれいすBe会議室）参加者4名 審議報告事項 ・第11期定期総会議案書の印刷と配布 ・定期総会までの手順、役割分担、準備物等の確認 ・議長・議事録署名人の選出 ・第11期定期総会「お礼と報告」文書の確定	
11日	第11期定期総会（カフェBe：10時～12時） 会員総数56家族、期日までに議決票を届けられた家族48＝総会は成立。 参加者7名（新旧役員5名、議長、議決票集計立会人・各1名） 審議事項 第1号議案 2019年度活動実績（賛成48） 第2号議案 2019年度収支・会計監査報告（賛成48） 第3号議案 2020年度役員・会計監査・参与選出（賛成48） 第4号議案 2020年度活動計画案（賛成47、保留1[コロナ禍が考慮に入れられていない]） 第5号議案 2020年度予算計画案（賛成48） 第1号議案から第5号議案まで、すべて承認（議長は財津さん）。 なお第3号議案で会長が厚東洋輔から大門陽子へ、役員としては、横山穂寿美、岡田二子、大曾根清恵が退任し、あたりに辰巳くみ子、鶴野玲子、澤村淑子、西口和子が就任。6年間会長を務めた厚東に、役員一同から記念品と花束を贈呈し、全員マスク姿!で<記念>の撮影をした。	
	コロナ禍による緊急事態宣言を受け会長判断にて4月以降当面役員会は休止することとし、家族会行事も休止。	
5月	行	事
	コロナ禍により役員会・家族会行事休止	

(厚東・大門 記)

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス 掲示板

3月	行	事
2日	オアシス役員会 アーリーアーク405号	
14日	公開講座 「発達障害のある子どもたちが社会で自立していくために～合理的配慮の支援を生かして～」&座談会 森 千夏 氏・望月 直人 氏 大阪自閉スペクトラム症協会主催 オアシス協力 場所：ドーンセンター 参加者：10名	
29日	JDDnet大阪 エリア会議 場所：ドーンセンター 会長参加	
4月	行	事
2日	世界自閉症啓発デー ブルーライトアップ 協力	
5日	JDDnet大阪企画「発達障害のある大学生の就職支援を考える」 9月27日に延期	
20日	オアシス役員会 各自宅より相談メールにて審議	
5月	行	事
2～5日	inochi学生プロジェクト2020「発達障害と、ともに歩める社会をつくる。」大学院生によるヒアリング・インタビューに回答 会長・事務局長	
25日	オアシス総会 書面による議決書を提出していただきました。 ◇会員総数54名、議決書38通、会則20条による総会開催要件を満たしているとして総会成立致しました。 ◇オアシス会則改正、事務所移転、事業委託契約の件、事務2019年度事業報告、決算・監査報告・2020年度役員・監事・顧問選任、2020年度事業計画案、予算案、すべての議案について承認。	

(福田 記)

北摂杉の子会 後援会 掲示板

本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また法人家族会の皆様のご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<報告事項>

I 会員数の動態と資金について

	個人会員数	納入率	団体会員数	納入率	寄 付
3月	427	(60%)	30	(83%)	1
4月	427	(1%)	30	(0%)	1
5月	429	(15%)	31	(19%)	4

5月末現在の増減・累計

個人：2名 団体：1 寄付：5名
 資金 会費：254,000円 寄付：49,000円
 合計：303,000円

II 前年度は会費、寄付金合わせまして2,008,010円の資金を頂戴いたしました。

今年度5月末までに会費、寄付金合わせまして303,000円の資金を頂戴いたしました。ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

III 定例役員会を開催し下記の案件について確認。

今年度は新型コロナウイルス感染回避のため書面による表決とする。(議事録抜粋)

日 時) 2020年5月18日(月)

参加者) 役員12名全員、相談役2名中2名が出席

1. 2019年度の活動

1) 会員数

個人会員：427名、団体会員：30団体、合計：457名 / 団体

2) 後援会費及び寄付収入

後援会費：1,146,000円、寄付：862,010円、合計：2,008,010円

3) 経緯

・法人への寄付

2019年6月に130万円(web会議用のシステム「ライブオン」を25事業所設置費用に充当)

2019年7月に15万円(萩の杜園庭、植木の剪定と除草費用に充当)

・セキスイハイム住宅紹介制度：2019度は実績なし

・定例役員会(2019年6月)に加えて臨時役員会を3回開催し(2019年8月、2019年11月、2020年2月)、資金集めの方法などを話し合った

・法人各施設、事業所の取引業者様に後援会への入会をお願いした

2. 2019年度の収支と会計監査報告

1) 収入

前期繰越金：1,315,409円、寄付金：862,010円、後援会費：1,146,000円、受取利息：10円、収入合計：2,008,020円

2) 支出

事務費：0円、通信費：10,440円、雑費：33,506円、その他：270,000円、法人への寄付：1,450,000円、支出合計：1,763,946円

3) 次期繰越金

1,559,483円(2020年3月31日現在)

3. 2020年度の活動計画

1) 法人への寄付

140万円を寄付。用途は法人で検討中。また、萩の杜園庭、植木の剪定と除草費用30万円の寄付も実施

2) 個人会員、団体会員への会費納入依頼

3) 新規会員の加入お願い

4) 会員特典

後援会への加入促進を目的にララショコラとのコラボを企画

5) セキスイハイム住宅紹介制度

今年度も継続する(後援会会員が住宅を建てる人をセキスイハイムに紹介すると、成約者は建物本体価格の3%割引、また後援会に50万円、紹介者にも10万円が支払われます：連絡先は法人本部：佐々木寛昭法人事業部長)

<その他のご報告>

2020年度以降の後援会役員は、次のとおりです

会 長：沖本卓郎

幹 事：東敬司、大門陽子、玉木一彦、永井昌明、福田啓子、本田英世、松岡洋市、今村一二三、中村節史

会 計：和田光子

事務局長：佐々木寛昭

(以上、役員)

監 査：河坂昌利

相談役：植松芳哲、松上利男

(沖本 記)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

- | | | |
|-----------|------|---------|
| 1. 寄付金(注) | | |
| 2. 個人会員 | 年間一口 | 2,000円 |
| 3. 団体会員 | 年間一口 | 10,000円 |

郵便振込口座 北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会
口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

□ 法人へのご寄附に感謝いたします。(令和2年3月1日～令和2年5月31日)

植松芳哲 奥 健介 森田豊子 東 敬司 久保いずみ 岡 大緑 小川敏夫 松上利男

□ 法人への物品のご提供に感謝いたします。(令和2年3月1日～令和2年6月30日)

Gogaku株式会社 取締役 大谷一仁 FOR ALL LINE株式会社 代表取締役 谷川光明

ディーズパレット株式会社 代表取締役社長 中島 剛 株式会社 富山環境整備 スマートフォレスト営業部

□ 後援会入会と会費納入に感謝いたします。(令和2年3月1日～令和2年5月31日)

植松芳哲 植松登志子 植松正機 植松信機 植松里枝 植松小遥 植松小絢 浜地憲章 増淵絃子 榎本貴夫
平野千鶴子 和田 進 和田光子 中村忠雄 中村昭代 山内千鶴子 東 敬司 林 智恵 平林征男 田村和子
尾木 豊 米田たか 村山宣明 村山靖子 辻本智恵子 高島鴻志 高島美津子 平田登代子 中西君枝 水島佑介
志賀亞之 佐藤康子 新川 彰 松上文子 藤田晴美 平瀬武明 具志堅進 具志堅郁子 木下光代 前田浩子
西坂徹雄 山内 稔 行成章子 笹尾武司 橋本紀子 野口良三 野口里子 稲田聖子 平井雅子 本田千秋
高橋八重子 本荘真理 沖本卓郎 池下貞子 井上誠子 久常進治 久常和子 垣本寿也子 中村淑子 今中貴子
藤岡 宏 藤岡紀子 今村一二三 今村圭子 今村誠吾 今村暢也 今村美佐代 今村聡之 今村洋子 森田豊子
匿名3名

寺田軌道株式会社 代表取締役 寺田秀喜 社会福祉法人なみはや福祉会 中津保育園

中央フードサービス株式会社 株式会社いずみ商事 川島法律事務所 川島志保

やまびこ園 医療法人桜峰会 香川クリニック 千里ハウジング株式会社 代表取締役 小山洋司

□ 後援会へのご寄付に感謝いたします。(令和2年3月1日～令和2年5月31日)

久保いずみ 田村和子 志賀亞之 新川 淳 宮本東雨 匿名1名

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2020年7月31日

定価100円

施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人事業部 人材育成研修室**
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
 - **障がい者支援施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
 - **萩の杜 日中活動支援センターふれとなさはら** (生活介護)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号
 - **萩の杜ショートステイセンター ぶれす** (短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0199
 - **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
 - **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
 - **レジデンスなさはら2丁目** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号
 - **レジデンスなさはらもとまち** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番26号
 - **ジョブサイトひむろ** (生活介護)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
 - **高槻地域生活総合支援センター ぶれいすBe** (生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
 - **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
 - **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか** (発達障害者支援センター事業)
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
 - **児童デイサービスセンター an** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)4862-5454 FAX (06)4862-5466
 - **こども発達支援センター will** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
 - **こども相談支援センター wish** (指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
 - **自閉症療育センター Link** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
 - **こども発達支援センター az** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒558-0003 大阪市住吉区长居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
 - **ジョブサイトよど** (生活介護)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
 - **ジェイ・ランチよど** (就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
 - **ジョブジョイントおおさか** (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
 - **ジョブジョイントおおさか たかつきランチ** (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
 - **すぎのご訪問看護ステーション** (訪問看護)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目7-16 リーベン城北401
TEL (072)668-2670 FAX (072)668-2671
 - **発達支援あゆみ** (豊中市児童発達支援事業所あゆみ) (個別療育・障害児一時預り事業・単独通所)
〒560-0054 豊中市桜の町3丁目12番10号
単独通所 あゆみ
TEL (06)6841-1551 FAX (06)6841-9467
個別療育 カラフル・一時預かり りーふ
TEL (06)6398-7755 FAX (06)6841-9467
- 【法人自主製品店舗】**
- **「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」**
就労継続支援B型
〒569-0071 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)
- ※■は行政よりの委託事業